

令和5年度 年間指導計画		学校名	学科・コース名	機械科・電気科・建築設備科	クラス	1組, 2組, 3組	単位	2	学年	1	留意 事項
		教科名	科目名	公共	教科書名(会社名)	高等学校 新公共(第一学習社)					
第2編 第3章の 評価規 準B	柱書	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。									
	知識及び技能	(ウ) 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解すること。[知] (イ) 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けること。[技]									
	思考力、判断力、表現力等	(ア) アの(ア)から(ウ)までの事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現すること。									
	学びに向かう力、人間性等	経済的な主体となる私たちについて学ぶことを通して、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。									
第3編の 評価規 準B	柱書	持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。									
	知識及び技能										
	思考力、判断力、表現力等	ア 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述すること。									
	学びに向かう力、人間性等	持続可能な社会づくりについて考えることを通して、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。									
評価の表記について		学習改善(指導)に生かす評価=●は、毎時間行うものであり、よってここには表記しない(学習指導案には記載する)。評定に用いる(記録に残す)評価=○、そのうちペーパーテストで見取る評価=◎として記載する。									
学期	月	大項目 中項目 編章	単元名 節	FQ (単元を貫く問い)	小単元名と 考查の位置づけ	MQ (本時の問い)	評価の観点			時数	単元(内容のまとまり)ごとの 評価規準(B評価の生徒の姿)
							知	思	態		
三学期 の評価	12	第2編 自立した 主体とし てよりよ い社会の 形成に参 画する私 たち	第3章 経済的 な主体と なる私 たち	財政の役割 と社会保 障 財政や社会保 障を持続可 能なものに するために、 政府はどの ような役割 を果たして いくべきか?	1. 財政のしくみと租税	財政とは?	◎	○	○	1	【知識・技能】 *職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 *現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 *幸福、正義、公正などに着目して、主として経済に関わる事項(財政の役割と社会保障、経済のグローバル化など)について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 *経済的な主体となる私たちについて学ぶことを通して、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
					2. 日本の財政の課題	日本の財政は大丈夫?	◎	○	○	1	
					3. 社会保障と国民福祉	社会保障制度はなぜ必要か?	◎	○	○	1	
					4. これからの社会保障 未来へ 持続可能な社会保障制度を維持するにはどうすべきだろうか?	財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきか?	◎	○	○	1	
			第3編 持続可能な 社会づく りの主体 となる私 たち	経済のグ ローバル 化 経済のグ ローバル 化により起 こる諸課 題に、国 際社会や 私たちは どう向き 合うべき か?	1. 国際分業と貿易(比較生産費説)	自由貿易と保護貿易、どう違うのか?	◎	○	○	1	
					2. 国際収支と国際経済体制	国際貿易は上手くいっているのか?	◎	○	○	1	
					3. 外国為替相場の動き(円高・円安)	円高・円安どちらがお得?	◎	○	○	1	
					4. グローバル化する経済	経済のグローバル化は日本経済にどう影響しているか?	◎	○	○	1	
					5. 地域的経済統合 未来へ 日本のこれからの貿易政策はどうあるべきか?	地域的経済統合は地域の人々に幸福を与えるのか?	◎	○	○	1	
					6. 国際社会における貧困や格差	国家間の貧困や格差の拡大はなぜ起こるのか?	◎	○	○	1	
					7. 地球環境問題	地球環境問題に対する足並みの乱れとは?	◎	○	○	1	
					8. 資源・エネルギー問題	持続可能な社会の実現のためには?	◎	○	○	1	
第3編 持続可能な 社会づく りの主体 となる私 たち	持続可能な 社会を 実現する ために何 をすべき か?	9. 国際社会のこれから 未来へ 国際社会における貧困や格差に日本はどう向きあうべきか?	経済のグローバル化により起こる諸課題に、国際社会や私たちはどう向き合うべきか?	◎	○	○	2				
		1. 排出権取引を考える～地球環境問題	持続可能な社会を実現するために何をすべきか?	◎	○	○	3				
		2. ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題									
		3. ゲノム編集を考える～生命倫理									
		4. インターネットによる投票を考える～情報									
5. フェアトレードを考える～国際社会の課題											